



青い空 緑の山と風
黄色のうねりは
人類の理想 文化を表わす。
それらが混然一体調和して
ロータリーの理想に向って
昂って行く姿を示している。



Weekly Report

されている事が報告されました。当クラブ、各委員会に於いても、活動計画の実施に向けご協力をお願い致します。尚、当クラブの活動のひとつである「絆工房」にかなりの反響があり懇親会の場では詳しい説明を求められ、他クラブでも実施したいと意向がありました。大変好評でした。

3. 新世代のためのプログラムについて

特に本年度RI会長の強調事項であるこのプログラムも大半のクラブが、既に実施に移している状況が報告されました。当クラブとしても、青少年奉仕委員会を中心に関連委員会が協力して、対応すべきと考えます。

4. その他

例会の出席率向上について、米山寄付、財団寄付に協力の要請がなされました。

尚、懇親会の場に於いて、多摩RC、稲城RCから、3クラブ合同親睦例会の提案があり、当クラブとしては、理事会検討事項にする旨解答致しました。

◎幹事報告

須藤 起雄

○10月20日～21日の親睦旅行は6時30分点鐘ですので遅刻せぬようご参集下さい。10月23日(水)の例会はお休みとなります。

○今月からガバナー事務所への月々の出席率の報告が義務づけられ当クラブの9月平均出席率は87.5%と報告致しました。もっとこの数字が上るようご協力お願いします。

○11月19日新高輪ホテルで開かれる世界社会奉仕委員会委員長会議に飯島会員が出席予定です。

○和気真菜さんより現況報告が届いております。

委員会報告

第290回例会報告 (10/16)

(1996年～1997年度第15回例会)

司会 SAA委員会 中山順一郎
◎点鐘 会長 遠藤 二郎
◎ロータリーソング「奉仕の理想」

ソングリーダー 吉沢 洋景

◎お客様紹介 会長 遠藤 二郎
藤田 育男様 (町田RC)

◎会務報告

東分區、会長幹事会が、11月21日開催予定のIMの下見を兼ね京王プラザホテル多摩に於て10月11日に開催されました。

議題1. IMについて

準備状況の詳細報告および各クラブに対して1名でも多くの出席要請がありました。当クラブは例会を振替えての全員登録が決定されておりますので、よろしくお願い致します。

2. 各クラブの活動状況報告

各クラブ共に委員会活動がすでにかなり実施に移

東京多摩グリーンロータリー・クラブ

会長：遠藤 二郎 副委員長：田畑 博
幹事：須藤 起雄 委員：大松誠二・伊藤英也・村上久
会報委員長：小坂 一郎 杉野志保子・山崎光一

例会場 京王プラザホテル多摩 (たまつばき)

事務局：東京都多摩市落合1-43
京王プラザホテル多摩 561号
TEL 0423-72-6463/FAX 0423-72-6491

例会日 毎週水曜日12:30 月の最終例会18:30

◎ニコニコBOX

親睦活動委員会 田畑 博

藤田 育男様(町田RC)

本日はよろしくお願ひ致します。

遠藤 二郎

久しぶりの秋晴れで、お客様ようこそ。

萩生田 茂夫

久しぶりに今日は出席出来ました。

杉田 誠

結婚祝いいいただきました。お陰様で31回目のアニバーサリーです。

伊澤 ケイ子

12日、2人目の孫が誕生しました。女の子で〜す。

小松 誠二

バースデーカードありがとうございます。10月20日は選挙、例会そして私の誕生日、お忘れなく。

北村 幸彦

なにもないけど。

本日合計 金13,000円 (累計 402,539円)

◎出席報告

会員総数 52名(出席義務免除者 1名)

出席者数 43名 欠席者数 10名

本日出席率 82.69%

10/ 2 最終出席率 90.38%

10/ 9 訂正出席率 80.77%

欠席者 足立 潤三郎、藤本 吉文、猪股 末男、
根本 泰守、関岡 俊二、新海 源四郎、高野 範城
津守 弘範、横倉 譲

メイクアップ

伊神 稔 10/ 5 青少年交換委員会

◎卓話 「覚醒剤乱用問題について」 小坂 一郎

麻薬問題はいつも新聞紙上をにぎわし社会問題となっているわけですが全国組織として麻薬覚醒剤等乱用防止推進委員会があり、多摩、稲城地区も一つのブロックでボランティアとして民生委員、青年協委員、薬剤関係者、ドクター等が関わり私が会長を努めております。

資料にあるとおり薬物関連の犯罪事例は地域的には東京都を始めとする大都市に多く、また年齢層としては圧倒的に20~30才代の若年層に多く問題となっております。ロック歌手のような芸能人や有名人による大麻等の乱用が若者が薬物にはしるきっかけのひとつになっているものと思われます。麻薬、大麻、覚醒剤等は一般に知られている精神症状のみならず呼吸循環等の巾広い生理現象に障害を及ぼし脳卒中、心臓発作等の致命的な症状をひきおこしたり、さらには肝臓、腎臓、肺等多くの臓器に障害をおこし生命に重大な危険を及ぼすこともあります。これらの薬物は神経伝達物質を多量に分泌させ異常な快感をもたらし、他方薬物がきれた状態になると一気に倦怠感、脱力感を覚え再び薬物に依存してゆくことになります。自制心や治療により薬物から脱却したかにみえても一定の期間を経るとフラッシュバック現象がおこり再び薬物にひたってゆくこともあります。最近では向精神薬も問題になっており不正な手段で手に入れようとする事例もあります。多摩、稲城では犯罪事例は少ないものの多摩センター近辺で外国人と称する人々の間に問題があるのではといったうわさも流れております。犯罪を未然に防ぐことはもちろん薬物にふみこまないように皆様方が事例やうわさを見聞きしましたら是非、多摩警察署や私にお知らせ下さるようお願い致します。

(ビデオ20分)

読書の秋、スポーツの秋、実りの秋、食欲の秋、皆様はどのような秋をお楽しみでしょうか。

(今回の担当 杉野)